

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
基礎柔道修復学2							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道修復学科・夜間部	1年	前期	神田 美樹		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	基礎柔道修復学			座学	2	21	
科目概要							
<p>柔道修復の基礎知識を身に付ける。 主に、筋、腱、末梢神経等の軟部組織の損傷における損傷程度、種類、分類、症状について理解し、説明できるようにする。また、臨床の場において業務を正しく遂行するための知識を理解し、説明できるようにする。</p>							
目標							
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	柔道修復の基礎知識を身に付ける科目なので損傷における評価、判断、治療法等(外傷保存療法)の経過及び治療の判定を含む。)について理解し、説明できるようにする。						
到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・関節の損傷(捻挫・脱臼)について、複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 ・筋の損傷(筋の構造と機能、筋損傷の概説・分類・症状・治療機序・予後など)について、複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 ・腱の損傷(腱の構造と機能、腱損傷の概説・分類・症状・治療機序など)について、複数の選択肢から適切なものを選ぶことができる。 ・末梢神経の損傷(神経の構造と機能、神経損傷の概説・分類、末梢神経損傷の症状・治療機序など)について、適切なものを選ぶことができる。 ・診察(診察時の注意点、診察手順の概説、診察の時期による分類、治療計画の作成、施術録の扱いと記載) 						
履修に必要な予備知識や技能							
解剖学はすべての基本となるので日々復習しておく。配布されたテキストは授業前に目を通し授業の概要を把握しておく。							
教科書・参考書							
『柔道修復学・理論編 第6版』(公社)全国柔道修復学校協会(南江堂)							
受講上の注意							
資料はなくさないこと(再配布はしません)							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (クイズ/テスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	関節の構造と機能			P.47～	教科書・配布プリント		
第2回	関節構成組織			P.48～	教科書・配布プリント		
第3回	関節損傷			P.52～	教科書・配布プリント		
第4回	関節構成組織損傷			P.54～	教科書・配布プリント		
第5回	関節軟骨損傷			P.56～	教科書・配布プリント		
第6回	脱臼の定義と分類①			P.59～	教科書・配布プリント		
第7回	脱臼の定義と分類②			P.60～	教科書・配布プリント		
第8回	脱臼の定義と分類③			P.62～	教科書・配布プリント		
第9回	脱臼の症状と合併症			P.64～	教科書・配布プリント		
第10回	脱臼の修復障害			P.65～	教科書・配布プリント		
第11回	筋の構造と機能			P.66～	教科書・配布プリント		
第12回	筋損傷の分類と症状			P.70～	教科書・配布プリント		
第13回	腱の構造と機能			P.74～	教科書・配布プリント		
第14回	腱損傷の分類			P.77～	教科書・配布プリント		
第15回	神経の構造と機能			P.80～	教科書・配布プリント		
第16回	神経損傷の分類			P.82～	教科書・配布プリント		
第17回	診察の注意点			P.86～	教科書・配布プリント		
第18回	診察の手順と治療計画			P.87～	教科書・配布プリント		
第19回	まとめ				教科書・配布プリント		
第20回	定期試験						
第21回	試験解説						
実務経験と本講義との関連について							
柔道修復師として接骨院および整形外科で臨床に携わった実務者の視点から講義する。							
メールアドレス							